

議 長 日程第1「認定第1号令和元年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定について（一般会計決算審査特別委員会報告）」を議題といたします。

本件については、一般会計決算審査特別委員会の審査報告を求めます。委員長、南雲まさ子君。

一般会計決算審査
特 別 委 員 長

皆様おはようございます。決算審査特別委員会報告書。本委員会は、9月16日に委員6名全員出席のもとに、役場4階大会議室で委員会を開催し、令和2年第3回議会定例会において付託された認定第1号令和元年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定について、慎重に審査いたしましたので、次のとおり報告します。

記、1、審査の結果。採決により、賛成多数で認定すべきものと決定いたしました。

2、審査の内容。歳入については一括、歳出については各款を単位として、適切な執行がされたかを中心に審査を行いました。

なお、今後は次のことについて十分留意されたい。

（1）ふるさと応援寄附金に対する返礼品は、地場産品の振興を図るとともに、魅力的な物産品を開発し、歳入増に努められたい。なお、開発に補助金を出したものについては、しっかりと検証されたい。

（2）各種委託料の成果品のうち、計画書の類に関するものは、実施内容や、その効果を適宜報告されたい。

（3）指定管理委託料の中で、スプラボ、ドッグラン、ロウバイ園等の運営状況、経営報告の検証を行い、適宜報告されたい。

（4）歳出の中で不用額が多く見受けられるが、十分精査分析し、予算計上されたい。

なお、何か御質問があれば、ほかにも委員がいますので、御発言をお許しください。

議 長 一般会計決算審査特別委員会委員長の報告が終わりました。これより質疑に入ります。

5 番 田 代 それでは1点質問させてください。審査内容の、条件つけた関係の3番です。

指定管理委託料の中で、スプラポ、ドッグラン、ロウバイ園の運営状況、経営報告の検証を行い、適宜報告されたいとなってます。この中で、決算書を見ますと、令和元年度。平成31年です。それと、1年遡りまして、平成30年度ですか。継続で、継続事業として、まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進。この中で、女性が輝き活躍するコンパクトシティ創生事業ということで、旧松田土木事務所、これを改築して、国の創生資金を頂いて改築して、今の現在の、ここで言うスプラポという名称になって動き始めてるんですけども、このことについてお伺いいたします。

まず1点目が、この施設については平成30年、また31年に動いてるときに、事務局からいろいろ説明いただいた資料の中では、女性の雇用の創出や総合支援、生活支援の実施等を通じ、地域経済の活性化を図ることを目的に行うんだということになってます。それで、ここで令和元年度に完成して、11月1日にオープンしております。そのことについてお伺いしたいのが、その所期の目的に対して半年間、11月から5か月ですか、実績が出たわけなんですけども、その成果状況、これらについてどのように審査されたのかお尋ねしたいと思います。よろしくお願いします。

7 番 南 雲 スプラポについては、なかなか女性が輝くというところまで、なかなか進まない中で、あのような形に持っていかれたということで、今回の質問では、そこまで掘り下げて質問をすることがなかったということで、資料を請求させていただいて、こちらで、こちらの委員会のほうで、やりっぱなしという形ではなく、やはり細かく報告が欲しいということで結論をいたしました。以上です。

5 番 田 代 ちょっとくどいようなんですけれども、この事業についてはハード事業で、平成30年、また令和元年の投資額が6,274万、ハードに入れております。それ以外に、調査業務委託、どういうふうなことをやろうかという関係や、女性の起業家育成のための委託料、拠点施設の開業準備、そういったものに全部で1,700万ぐらい、ソフト事業で入れております。まさに30、31年度の、令和元年度までの1つの目玉の事業ではないかと考えております。私も委員会傍聴させていただいたときに、副町長に質問されたときに、今後の状況ですか、そういう総論的な質問をされたときに、極力自走式でやっていくと。一般財を持ち出して

はなくて、この施設については、テナントとかそういう入居者の方から頂く家賃収入、そういったもので行って来いになるような方向でやっていくよと、そういう答えをいただいたのを、私、聞いております。

そのようなことから、この報告書、私も頂いたんですけども、9月16日の決算特別委員会資料、この収支予測で一応いろいろ出ております。私、この入居状況からすると、立派な成果ではないかなと思います。これを管理、これから検証していくということなんですけども、この資料を見て、どういうふうに委員さんとして感じられたか。資料は頂いただけとお話しされましたけれども、これはやはり私、大きい事業だと思うので、特別委員会の審査の一つの柱になるのかなということで、これについてどういうふうにお考えになられたか。それについてお答えをお願いいたします。

7 番 南 雲 今、特別に野口建設さんが賃貸料、賃貸借料として入ってるのが1,500万ございます。これが、継続的に入るかということが懸念されますけれども、これを見た限りではすばらしい成果だと感じております。以上です。

5 番 田 代 回答ありがとうございます。それではこの指摘事項3にあるように、これからの経営報告、これを頂いて、検証を我々議員はしていくということで理解をさせて、質問を終わります。終わります。

議 長 ほかにございますか。

6 番 井 上 1点ですね、お伺いをいたします。特別委員会の中で決算審査ですね、一日かけて行われたということで、御苦労さまでした。その中でですね、平成元年度におきましては町債ですね、町の借金の額が決算のほうの、決算書ではですね、元年度の発行額が4億9,360万円という、かなりの額になっています。またですね、今年度以降、松田小学校建設事業、防災行政無線のデジタル化の残り、と、大分大きいですね、事業が進展をしていくというふうに思います。その中で、平成30年度の発行額4億9,360万円というものが、松田町の今後の財政事情において、どういうふうな、これからその借金を返済をしていく中の影響についてですね、どのような影響があるかについてですね、お伺いをさせていただきたいと思います。

7 番 南 雲 町債についてのお話は出ませんでした。それで、やはりここで…委員長の考

えでもよろしいですか。それとも委員会で出たお話。（「出なければいいですよ。」の声あり）あ、はい。出ませんでした。すみません。

6 番 井 上 聞きたいことはですね、その金額がどうかではなく、これからですね、元利償還が始まると、その元利償還、30年度だけでも約5億弱の町債の借り入れに対する償還がですね、あと3年、または5年後に始まっていくという中で、全体的な公債費比率、財政に対する影響、そのときの財政事情がどういうふうな推測をされるのかというのをお聞きをしたかったわけです。以上で終わります。

議 長 ほかにございますか。この辺で質疑を…あ、はい。

8 番 中 野 2点ほどお聞きいたします。この報告書の中にも附帯条件として記されておりますが、1番目のふるさと応援寄附金ですね。これは大変有意義な、またありがたい寄附金ということで、財源確保のすばらしい手段であろうかと思っておるところでございます。それで近隣市町でも、最近ではこの確保に躍起となっているというのが状況でございます。我が松田町でも、そのようにあるはずなんですが、昨年度より若干減っておりますね、寄附金が。130万ぐらいが減ってるんですが、そして8,800万ということでございます。この附帯条件の中にも、特産品を、地場産品を活用した特産品の開発に努められたいということでございます。これは毎年毎年同じようなことが言われてきておるわけではございますが、いまだにまだこれぞといった、これがベストですよというような特産品が、開発というものがなされてないのが現状でございます。地場産品を使った特産品開発に努めることということは、うたわれてはおりますけれども、その辺のところのやり取りで、特に町側から具体的な回答はなかったでしょうか。

7 番 南 雲 そうですね、内容についてはございませんでした。ただ、町のほうでも、ガバメントクラウドファンディング、町の事業に対する寄附とか、企業版ふるさと納税を10月から進めていくなどの、すごい前向きな、ポジティブな御意見を頂くことができました。以上です。

8 番 中 野 そうですか。例えば一つの例出しますと、隣の南足柄市さんなんていうのは、今まで返礼品としてなかったアサヒビール、缶ビールですね。これが加わりまして、今では断トツ、南足柄市の返礼品の中の断トツのトップだそうござい

ます。約、私が聞き及んでるところによりますと、毎日毎日350ミリ缶、約、小売価格で4,300万円ぐらいするんですか。ですから、それから想定しますと、1万円に対しての返礼品と、1ケース。それが毎日500ケースほど、返礼品として発送されてるそうです。そうしますと、それだけで年間十七、八億円、十七、八億円の寄附金がある計算になります。いきなりなんですよ。我が町にはそういった大きな特産品となるものがありませんから、ただただすごいなと言って指をくわえているだけにしか思えませんが、まず、私は何度も申ししますが、この南足柄のような形に一遍になると言っても無理なものかと思いますが、各町が躍起になっているのがこのふるさと納税でございます。我が町でもきっちりとした、本腰を入れた特産品開発、そして返礼品開発というものに力を入れていつていただきたいと思うんですが、今、5町でもって、5社でもって返礼品の業務に当たっていただいて、今現在、返礼品の品種、何品種あるのか。また、その中でベスト3は何なのかというような疑問点は持たれましたでしょうか。お聞きしましたでしょうか。

7 番 南 雲 はい、質問には出ませんでした。

8 番 中 野 出ませんでしたって、ああ、そうですね。聞かなかった、聞かれませんでしたということですね。多分昨年度ですと、126品目というふうに私は記憶しておるんですが。そしてナンバー3はやはり、足柄牛、ミカン、お茶あたりだったかなというふうに思います。それが悪いということではないんですが、それにとって代わる、非常に残念なことです。松田町の特産品というとミカンとお茶と、すぐ答えられますけども、生産者の方には失礼なんです。ミカンとお茶はじり貧ですよ。じり貧です。私から言わせていただければ。これがナンバー3を占めているようでは、松田町のふるさと納税の増加というものは見込めないのではなかろうかなと、そんなふうに思っているところでございます。行政の皆様方には、本当に本腰を入れて開発に取り組んでいただきたいと思う次第でございます。

それと、2点目よろしいですか。ページ69ページになりますが、負担金補助及び交付金433万、69ページです。その中の、住宅取得促進奨励金150万、昨年は280万です。2世帯同居等支援奨励金240万、昨年は360万。そしてふるさと

松田同窓会助成費用36万、昨年は37万と。いずれもが…同窓会助成は横ばいですが、いずれもが大幅に交付金補助、交付金が減っているわけでございます。これも始められて数年がたつと思うんですが、果たして減っている原因が、要因が、もう松田町には新しく建てる土地がないから、だんだん、だんだん減っていったらどうか、そういった要因ならばいざ仕方がないんですが、私はそろそろもうマンネリではなかろうのかなと。俗に言う、大変失礼な言い方かもしれませんが、ばらまき事業ではなかろうかなと思うんですが、そういった疑問点は出ませんでしたか。

7 番 南 雲 出ました。それで負担金のところで、減ってはいるんだけど…今、ごめんなさい。あれですね、2世帯同居の住宅取得という話ですね。はい。その話は出ませんでした、はい。（「出た。」の声あり）出ました。ごめんなさい。寺嶋さんのほう…。

議 長 挙手してください。

11 番 寺 嶋 では、補足ということで発言させていただきます。69ページの負担金交付金ですけど、企画費ということで、定住少子化対策ね。この件では、住宅取得促進奨励金が15件で、45名の方がね、新しく増えたと。それから2世帯同居支援奨励金は9件で3組かな。34名の方が、一応、34名だよな。9件で34名の方がね、一応増えたと。それから、ふるさと松田同窓助成費用では9件が申し込みあって、補助をしました。それで民間賃貸住宅家賃補助ということも、これも2件の方が利用されて、5世帯、2件で5名、5名の方がね、増えたということで、なかなかね、松田町はなかなか人口減少が歯止めがかからないということなんですけども、この最近の件では、社会…自然増はね、人口は亡くなる方が多いから減ってるんですけども、社会増ね、社会増についてはこういう施策がありますので、最近ね、少し増えてるということで、これは重要、大変成果がね、上がってるということで、私は確認をいたしました。以上です。

8 番 中 野 あ、そうですか。大変ばらまきではなかろうかというような、失礼な言い方をしてしまったんですが、成果が上がっているということで捉えてよろしいんですか。はい、分かりました。

いずれにしても、この今回の決算書を見ますと、幸か不幸か、自主財源

の根幹である町税、特にその中の法人町民税が大幅に増となり、また、交付税の増加もあり、もろもろの要因が重なりまして、今回の歳入全体が増加したということで、非常に喜ばしいことだとは思っております。この決算の数字が、今後の来年度の予算の基本ということの礎となるわけでございますので、この決算の数字をよくよく精査をしていただきまして、皆様方におかれましては、来年度の予算編成に十二分に取り組んでいただきたいと、そのことを要望して質問を終わります。以上です。

議 長 この辺で質疑を打ち切りたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。

10番 齋 藤 2点だけお聞きしたいことがございます。まず、環境対策費、この町はかなり環境対策に取り組んでる町だと考えております。その中で、クールチョイス、毎年「クールチョイス」という言葉を使って、かなりいろんなことをされてるんですけど、決算額にも449万9,000円という形で出ております。この辺の中身の状況の確認はされたんでしょうか。お願いします。

2番 古 谷 私がちょっとお伺いしましたので、報告させていただきます。ちょっと待ってください。クールチョイスのところですね、はい。予算もですね、大分増えてる、30年度から比べて大分増えてるということで、質問させていただきました。その中にはですね、1社で対応しているということですけども、ワークショップなりイベント事業、またアンバサダー講座を開いて資料等もですね、全戸配布で啓発しているということで伺っております。

1番 唐 澤 補足でお伝えいたします。昨年度よりもかなり増額されている金額なんですけれども、こちらは環境省の補助金が10分の10ということで、先ほど古谷さんも申しました1社、エネルギーを考える会でしたっけ。そちらのところが補助金を引っ張ってきてくださって、前年度よりはかなりたくさんの事業を行うことができたということで、細かく確認させていただいております。以上です。

10番 齋 藤 分かりました。そのエネルギーを考えるとかつていう、その辺の資料等は出たんですか。どういうメンバーでいたのかって、ちょっとその辺の情報がこっちには分かってなかったの。

1 番 唐 澤 資料は頂いております。

10 番 齋 藤 分かりました。約500万近く of いろいろなお金出てますので、環境に対応することは大変いいことだと思います。ただ、使った成果が皆さんに分かるようにしないと、何かやってる意味もなくなってしまうし、やってる人たちだけで終わってしまうのももったいないので、その辺の情報を広めるようなことをお願いしたいと思います。

また、2点目ですけど、農林水産費について、また今年も農泊とかっていう名前でお金出て、トイレ改修工事とか出てます。あそこ、どこっていうんだっけな。萱沼の地区とかの、前にもシンクを直すんだとかということでやられたと思うんですけど、その辺の農泊の状況って、あまり農泊の、言葉は飛び交ってるんですけど、何か実績がよく分からなくて、その辺のことは聞かれたんでしょうか。

7 番 南 雲 質問は出ませんでした。あ、出ましたか。ごめんなさい。

2 番 古 谷 農泊の関係、質問させていただきました。予算がですね、15万…127ページの真ん中ぐらいですけども、15万4,000円ということで、実績のほうが出ております。これどういうところで使われたのかということで、2件でですね、民宿ということで伺っております。以上です。

10 番 齋 藤 分かりました。トイレの改修2件ですけど、民宿って、今までたしか萱沼の奥のところの民家、古民家を借りてやられてて、改装してたと思うんですけど、民宿のトイレの改修なんですかね。その辺のことは確認はされたんですか。

2 番 古 谷 萱沼の安藤邸ですよ。そこは確認はしてありません。

10 番 齋 藤 分かりました。確認はしてないということで。農泊が今度その民宿を使ってやられるのか、ちょっとどのような形で流れるのか分からないんですけど、その辺の今後のことも聞かれてないですよ。

2 番 古 谷 その辺は確認はしてございません。

10 番 齋 藤 分かりました。以上で終わります。

議 長 この辺で質疑を打ち切りたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。質疑を打ち切ります。討論に入ります。

11番 寺 嶋 それでは私のほうは最初ですので、反対討論ということで行わせていただきます。11番 寺嶋正。令和元年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定について、反対の立場から討論を行います。

勤労者の所得減少や、消費税増税による影響で景気は低迷し、町税は減少傾向になっています。歳入決算額は前年度対比5.6%減の46億4,957万円、歳出決算額は前年度対比7.1%減の44億955万円で、歳入歳出差引2億4,002万円の剰余金が生じ、繰越明許費の町民文化センターE S C O事業に要する経費ほか6事業、及び継続費の防災行政無線デジタル化改修事業に係る翌年度へ繰り越すべき財源3,377万円を除いた実質収支額は2億624万円となっています。

歳入では、自主財源の主たる町税は15億8,775万円となり、依存財源の地方交付税は9億471万円、国庫支出金は4億7,112万円、町債は4億9,360万円となっています。

歳出では、性質別に見ると、人件費、扶助費、公債費を含めた義務的経費は19億1,578万円で、物件費、維持補修費、補助費等を含めた経常的な経費は32億8,065万円となっています。令和元年度末の、地方債現在高は43億5,145万円で、結果として町税の不納欠損額は203万円、収納未済額は、収入未済額は6,966万円もあり、収納向上対策が求められています。そして経常的な経費の節減に努め、行政サービス低下にならないように、町財政の身の丈に合った事業に取り組んでいかなければなりません。

普通建設事業では、道路新設改良整備事業や、松田小学校への空調設備整備工事などを行っていますが、令和4年度まで総額30億円超の松田小学校建設事業が行われる予定で、扶助費や公債費の増加等により、今後厳しい財政運営が予測されます。町民の暮らし、福祉の向上に向けて、自主財源を確保するための人口減少抑制策に取り組み、町有地の有効活用、空き家や未利用地の住宅地への誘導などを進めることが大事ではないでしょうか。

決算審査の評価として、予算の執行率は86.3%にとどまっており、年度内の事業執行に努めること、歳出の不用額が多く見受けられるので、十分精査して適正な予算措置をすること。施策的なことでは、定住少子化対策や子育て支援では、小児医療費助成事業、子育て支援センター・ファミリーサポート事業、

給食費保護者負担軽減措置事業など了解しますが、幾つかの問題点を述べておきます。町営住宅管理において、老朽化した空き家住宅は、防災上の観点から適時解体・整地し、適切な時期に草刈り等を行い、住宅地の管理をしっかりと行うこと。関係人口創出拡大推進業務委託は、目的や事業内容が分かりにくくなっており、十分精査すること。国民健康保険事業特別会計繰出金のうち、その他一般会計繰出しをしていないことに納得はできません。経済的に困窮している人に配慮し、保険税の上昇を抑えるために、その他繰入れをすることなどを申し上げまして、反対討論とさせていただきます。以上、よろしくお願いします。

議 長 賛成の方の討論は。

4 番 平 野 それでは賛成の立場から討論をさせていただきます。

寄中学と旧松田中学校が統合し、新生松田中学校としてスタートした平成31年春は、また令和に改元となり、第6次総合計画のスタートでもあり、また町制施行110周年の年でもありました。5月には自主事業として、「ロス・カルカス」コンサートが開催され、前年度に改修が終わったばかりの文化センター大ホールは満員となりました。

本山町政となって、地方創生推進事業など、国の補助金を活用する事業が増えましたが、順次実りを迎えております。令和元年度は、女性が輝き活躍するコンパクトシティ創生事業として、旧松田土木事務所の工事が完了し、5月に子育て支援センターが入り、11月からは愛称「スプラボ」と決まり、様々な活動の拠点として供用を開始しております。定住化策としての町営住宅整備も、前年度末に完成し入居開始となり、「ラ・メゾンカラフル町屋」では子供の声が響いておりますが、この年度の子育て世帯の施策としては、0から2歳児を対象とした小規模保育所「なのはな保育園」も開園し、また、教育においてはこの年度も継続的にICT推進事業に取り組んでおり、このことが今回の新型コロナ禍での長期休校期間、オンライン学習の実現に結実しております。学校へのエアコン配備は、普通教室だけではなく特別教室にもつけられております。そして、次なる大型事業、松田小学校建て替え事業が動き始め、子育て世代からは木造りの学校への期待の声を聞いております。

そうした中、自主財源の根幹である町税は、ここ10年近く、16億円前後を推移しており、新たな財源確保が模索されておりますが、ふるさと納税は残念ながら目標には届かず、8,800万円でした。町債発行額は、前年度比較1億8,000万円の減で4億9,000万、臨時財政対策債発行額も2,000万円減、1億6,900万円ほどとなっておりますが、今後の大型事業に向け増加に転じることが予測されます。

介護費や医療費の増加に伴い、やはり扶助費は年々増加しておりますが、福祉・健康でのきめ細かな事業は、サービス水準を保ちました。安全・安心を守る面では、防災行政無線デジタル化も計画的に進んでおります。この年の予算審査でも、多めであると指摘されていた物件費中の委託料は、平成28年をピークに減少に転じており、4億1,000万となっております。

歳入総額46億5,000万、歳出総額44億1,000万、翌年に繰り越すべき額を引いても実質収支2億円余りの黒字となり、実質収支比率5.3の適正レベルを維持しております。町の貯金である財政調整基金は3億5,000万、近隣市町と比べ少ないとの指摘もありますが、一般的には標準財政規模の10から20%が適正と言われており、松田町は標準財政規模29億とのことですから、その範囲内で収まっております。

以上、投資的な事業も計画的に展開しつつ、経常的な町民サービスも工夫しながら実施されており、財政諸指標を見ても適正と判断し、令和元年度の一般会計歳入歳出決算を承認いたします。

議長 ほかにございませんか。

ないようですので、討論を打ち切って御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。討論を打ち切り採決を行います。認定第1号令和元年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定について、委員会報告のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

起立多数であります。よって本案は委員会報告のとおり認定されました。

議長 暫時休憩します。休憩中に議会全員協議会をこの会議場で開催します。関係職員以外の方は退席をお願いします。(9時44分)